

船舶事故等調査報告書

平成24年9月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011仙第36号	
事故等種類	転覆	
発生日時	平成23年6月19日（日） 13時00分ごろ	
発生場所	青森県 ^{ひらない なつどまり} 平内町夏泊崎南南西方沖 平内町所在の陸奥大島灯台から真方位203° 2,300m付近 (概位 北緯40° 59.8′ 東経140° 51.6′)	
事故等調査の経過	平成23年6月30日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 プレジャーモーターボート コンテッサ、0.4トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 235-45818青森、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 船外機及び航海計器濡損</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者2人を乗せ、釣り場を移動するため、夏泊崎南南西方沖を時速約10kmで北東進中、平成23年6月19日13時00分ごろ右舷船首方から波を受けて瞬時に転覆した。</p> <p>船長及び同乗者は、海に投げ出されたのち、船底につかまった。</p> <p>船長及び同乗者は、本船の出航場所にあるレンタルボート店の船舶により救助され、本船は、同店の船舶によりえい航されて帰航した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西～北西、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：風浪の方向 北、風浪の高さ 約1～1.5m、うねりの方向 東、うねりの高さ 約1m</p>	
その他の事項	<p>船長は、本船を自宅からトレーラーで運搬し、夏泊崎の南側に所在するレンタルボート店のスロープから出航した。</p> <p>船長は、本事故発生場所の海域で航行するのは初めてであった。</p> <p>船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、夏泊崎南南西方沖を北東進中、右舷船首方から波を受けたことから、転覆したものと考えられる。</p> <p>本事故発生場所付近は、本事故当時、北方からの風浪と東方からのうねりが重なり合い、波が高まりやすい状況であった可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、夏泊崎南南西方沖を北東進中、右舷船首方から波を受けたため、転覆したことにより発生したものと考えられる。	
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられ	

る。

- ・ 波向の異なる波が発生している海域を航行する際は、大波高の波などの発生状況を確認すること。